

全天候型こどもの遊び場施設「ごとう わくわくフィールド（仮称）」 整備基本構想(素案)

【概要版】

令和7年9月

五島市こども未来課

基本構想（素案）の概要

1. 趣旨

子どもの遊び場について、全天候型の子どもの遊び場を求める声が多いことなどを踏まえ、これからの五島市の子どもたちが楽しく安全に遊ぶためには、どのような遊び場がふさわしいのかなどについて、基本的な考えや整備内容などの基本の方針をまとめたものです。

2. 整備箇所

◎最終候補地(案):市職員第1駐車場(図書館隣)に新設



3. 基本理念(コンセプト)

“みんなとつながる、遊びと学び”
“笑顔と成長で未来をつくる”

1 夢中で遊べる空間

乳幼児や小学生など全ての子どもが“わくわく”しながら、夢中になって、跳んだり、走ったり、自由に身体を動かすことができる空間にします。

2 安全・安心な空間

乳幼児が安全に、安心して遊べるように、親子が快適に広い空間で遊べるように、年齢別の遊び場や、障害のある人も障害のない人も楽しめる、みんなと一緒に遊べる空間（インクルーシブな空間）を確保します。

3 遊びから力を育む空間

様々な「遊び」を通じて「学び」、子どもたちの主体性や好奇心、創意工夫など、いろんな力を育むことができる空間にします。また、年齢が異なるお兄ちゃん、お姉ちゃんたちといっしょに遊ぶことで、遊びのルールや思いやりの心を養うことができる空間にします。

4 ゆっくりとくつろぎ、交流ができる空間

親同士やおじいちゃん、おばあちゃんなど、多くの世代が交流し、親子や孫と一緒に楽しい時間を過ごしながら、ゆっくりとくつろげる空間、新たな人間関係やネットワークが広がる空間を確保します。また、帰省や観光で訪れた方も楽しめる、新たなにぎわいのある空間にします。

4. 遊び場の検討

発達段階に応じて、「乳児エリア」「幼児エリア」「児童エリア」の3つのエリアを設定し、「あそび」の仕掛けを検討します。「からだ全体を使うあそび」に重点を置き、子ども自身の発達と好みに合わせて最適なチャレンジができる構造とします。

【遊びのポイント】

- 1 子どもの感性を楽しく刺激する
- 2 みんなと同じ遊びができる
- 3 自分に合った遊びを選べる
- 4 みんなとつながる

5. 管理、運営

①開館時間

開館時間(案)	●9:00～18:00 ※時間入れ替え制を検討
休館日(案)	●土日祝日は開館し、平日に休館日を設ける。

②主な利用者

乳幼児、小学生、中学生、高校生、保護者、妊産婦、子育て支援の活動を行う団体等 ※遊び場での小学生低学年未満の利用については、保護者同伴を検討しています。

③利用料金(案)

遊び場ゾーン	有料
休憩・交流・居場所・フリースペース	無料

6. 施設整備スケジュール(想定)

令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
基本構想	実施設計 工事準備	工事	施設開設 開業準備

遊戯スペースイメージ



※パースはイメージです。色の仕上がり等実物と多少異なります。

施設の機能、遊び場エリアイメージ

※写真はイメージを示したものであり、今後の設計で変更の可能性があります。

